

2. 2023年度事業報告概要

重要度(◎: 本年の重要な活動 ○: 重点対応項目 ・: 定常業務) ⇔ → : マンパワーを投入する期間

実施項目	リダ	メンバー	重 要	スケジュール (月)												実施内容	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
(1) 大工道具及び建築関連資料の収集及び保管																	
① 大工道具など実物資料の収集	坂本	学芸全員	・														713点収集
② 視覚資料の収集と保管	西村 崔	安田	◎														4点製作
③ 分類整理・保管	植村 植村	赤尾	・														棚、箱、備品購入、照明整備等
	植村	植村	○														道具・文献・映像・写真・論文データベースへの資料登録整備
(2) 大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開																	
① 常設展示																	
a) 常設展示の保守管理	坂本	学芸全員	・														常設展示のメンテナンス (随時)
b) 関連印刷物の発行	飯盛	中瀬、能見、事務局	・														図録、リーフレット、ポスター、封筒等の印刷 (随時)
② 企画展の準備と実施																	
a) 「イサム・ノグチTOOLS」	坂本	坂本	◎														3/4～5/7月開催、来場者11,937人
b) 「井波彫刻—物語を彫る」	崔	安田	◎														9/30～12/3日開催、来場者11,255人
c) 「第19回伝統工芸木竹展 神戸展」	植村	植村	○														5/13～6/18開催、来場者5,226人
d) 「第13回 産・くらべの一脚展 +2023 特別展「一本の樹のものがたり」	能見	能見	○														9/2～18開催、来場者3,077人
e) 海外特別展 (パリ) 「L'art des charpentiers japonais」	西山	西山	◎														10/18～2024/2/10開催中
f) 企画展用備品の整備	坂本	坂本	・														随時実施
③ 企画展の中期準備																	
a) 「日光の金工と彩色」	坂本	植村	・														2024年開催予定、関連調査、企画案検討
b) 「植物×匠」	坂本	崔	・														2025年開催予定、関連調査、企画案検討
c) 「鮫台をつくる—東京における台屋の成立と発展」	坂本	崔、赤尾	・														2024年3月2日～5月19日、企画・設計・図録製作実施
d) 「Japan House海外巡回展」	西山	西山	・														2024年11月～2026年3月開催に向けて各会場との調整実施
(3) 大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行																	
① 建築技術と道具に関する研究																	
a) 韓国の大工道具	崔	崔	○														韓国の現役大工へのインタビュー (11月) 資料翻訳を実施
b) ヨーロッパ	西山	西山	○														資料翻訳と次年度実施予定の現地調査準備を実施
c) 大工技術書	坂本	坂本	○														大工技術書の読解、中国シンポジウムで発表
d) 建築部材の加工技術 (部材加工痕)	植村	植村	○														大徳寺発見鑿のX線CT調査および研究紀要執筆。
e) 大工・鍛冶への聞き取り調査	坂本	学芸全員	・														大工への聞き取り調査を実施
f) 左官への聞き取り調査	西山	西山	・														磨き鏝に関する聞き取り調査を行った。
g) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成	坂本	学芸全員	・														情報収集・学会参加等
② 出版活動 (研究成果の公開)																	
a) 研究紀要No.34の発行およびNo.35の準備	能見	学芸全員、事務局	・														2023年3月30日発行

実施項目	リーダー	メンバー	重要	スケジュール (月)												実施内容	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
(4) 教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動																	
① 諸施設への協力	能見	広報T	・														資料貸出、会場提供、情報提供、博物館実習など
a) 諸施設への協力																	
② 教育・文化普及活動の実施	植村	学芸全員	・														7月、12月開催
a) 「技と心」セミナーの開催	久保	北村、能見	・														各種ワークショップの開催
b) ワークショップの開催	北村	久保	・														学校向けプログラム、夏休み体験教室 (8月) 他
c) 木工室の管理・運営																	
③ ボランティア活動の管理・運営	広報T	北村・久保	・														解説、WS、手入れなど各種活動を実施
a) 運営管理	佐々木		・														
b) 茶道運営管理																	
(5) 竹中大工道具館の管理、運営 (管理業務)																	
① 管理・運営一般																	
a) 財務会計処理業務一般	田中	全職員	○														公益財団法人に合致した会計処理の実施
b) 入館受付、団体受付、展示説明他	飯盛	全職員	○														団体の受入れ日程と説明者設定の調整、実施
② 広報活動																	
a) 広報一般	飯盛	能見、事務局	○														館統計、広報発送管理・対応、新聞等広告手配
b) 広報印刷物の発行と送付	能見	学芸部、飯盛	○														広報誌6月5,000部・12月3,000部・イベントチラシ6月5,000部・12月3,000部 (2回/年)
c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理	能見	梶	・														ウェブサイト更新・メールマガジン管理・SNS更新
③ ミュージアムショップの運営	中瀬	飯盛、事務局	○														オリジナルグッズ開発・製作、販売、在庫管理
④ 茶室の維持・管理	佐々木	全職員	・														茶室管理、茶室特別公開 (春秋)
⑤ 休憩室の維持・管理	佐々木	全職員	・														休憩室の清掃・維持管理
⑥ 館の情報インフラの強化・管理	梶	坂本、佐々木	○														情報セキュリティ強化、情報インフラの安定化、ホームページの拡充
⑦ 理事会・評議員会、役員見学会の開催	赤尾	河崎、佐々木	○														2-3月決算承認、11月事業計画・予算承認(役員合同見学会)
⑧ 財団法人事業報告会への参画	河崎	佐々木	・														2023/ 報告会に向けて準備を行う
⑨ 運営管理の改善と効率化	佐々木	全職員	○														運営コスト分析と削減、関連官公庁への申請・届出

3. 2023 年度事業報告詳細

(1) 大工道具及び建築関連資料の収集及び保管

① 大工道具など実物資料の収集

a) 実物資料の収集

国内および海外より下記資料を収集した。

資料名	点数	入手先
鯉節削り（千代鶴貞秀製作）	1	長町美貴子
木型工の道具	44	野村美智子
イギリスの大工道具	7	奥田英昭
左官道具	296	久住章
墨壺、墨さし	4	藤代 徹
前挽鋸	1	佐川武男
早川博一（建具職）の道具、材料	149	早川博一
建具	3	早川博一
三又錐他	2	本間久子（2019年収集品の追加登録）
鍛冶職人・森伊之吉の製作した道具	146	奥濱隆博
大工道具、大工道具カタログ・価格表	59	荒井直三郎（高円寺直平）
斧	1	Eko Prawoto（インドネシア）
計	713	

② 視聴覚資料の収集と保管

a) ビデオライブラリーの英語字幕化

ビデオライブラリー映像資料の内、優先度の高いものを選別し、英語ナレーション版または字幕版を製作した。2018年度より開始した計画の継続実施分。

b) 映像作品「井波彫刻」製作

井波彫刻展の開催に併せ、井波彫刻協同組合相談役の岩倉綾泉氏による欄間彫刻制作過程を映像作品としてまとめた。

映像資料名	点数	製作依頼先・入手先
屋根を葺く 檜皮(英語字幕版)	1	麦プロダクション大阪
屋根を葺く 柿(英語字幕版)	1	麦プロダクション大阪
木挽職 林以一・木と話す(英語字幕版)	1	麦プロダクション大阪
建築金具をつくる 六葉釘隠(英語字幕版)	1	麦プロダクション大阪
井波彫刻の技に迫る 彫刻欄間づくり	1	BOUZU DESIGN、株式会社ピクス
日光社寺文化財保存会—伝統と技術を未来へ—	1	日光社寺文化財保存会(寄贈)
日光の建築漆(通常版・短縮版)	2	日光社寺文化財保存会(寄贈)
日光の彩色(通常版・短縮版)	2	日光社寺文化財保存会(寄贈)
日光の錆金具(通常版・短縮版)	2	日光社寺文化財保存会(寄贈)
日光の木工(通常版・短縮版)	2	日光社寺文化財保存会(寄贈)
計	14	

2023/1~2023/12 収集件数計 727点

③ 分類整理・保管

a) 収蔵庫の維持管理・整備

収蔵庫維持管理のための定常業務として、年一回の害虫燻蒸、データロガーによる遠隔での温湿度測定・管理、資料の清拭、整理用箱の購入および資料の整理・棚配架等を実施した。

b) 資料データベースの整備

資料管理業務の効率化を目的に大工道具・図書・文献・映像・論文等の資料のデジタル化・データベース化を継続的に推進している。本年度は新規収集資料の登録および写真撮影（800点）、画像補正・挿入等の定常業務を行った。また、資料分類コードの見直しに伴う登録番号修正作業を約 3,200 点中 1,080 点について完了（次年度継続）したほか、資料名の見直し・データベース修正に取り組んでいる。

(2) 大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開

① 常設展示

a) 常設展示の保守管理

常設展示における器具破損対応等の保守管理、道具の油拭きならびに借用品の賃借契約更新を随時実施した。常設展 B2F の和の伝統美コーナーの捻組模型について、固定部破損が生じたため、補強工事を実施した。

b) 関連印刷物の発行

来館者用のリーフレット、企画展、ワークショップ等のイベントチラシ、企画展図録の印刷発行と増版を含む適正在庫量を確保した。

② 企画展の準備と実施

a) 企画展「イサム・ノグチ TOOLS」

20 世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチの道具資料を米国ノグチミュージアム（ニューヨーク）から借用し、「道具」を通してノグチの作品制作過程において「素材」と「技術」がいかに密接に関係していたのかを紹介する展覧会を開催した。併せて展覧会図録（A4・72P）を刊行したところ 500 部が期間中に売り切れるほど好評であった。

会 場	会 期	来場者
当館 1F 多目的ホール	3月4日～5月7日	11,937

(関連イベント)

名 称	日 時	会 場	講 師	参加人数
講演会「イサム・ノグチーその彫刻と道具」	4 月 22 日 (土) 13:30 ～15:00	デザイン・クリエイティブセンター 神戸 <KIITO> 303	ブレット・リットマン (イサム・ノグチ財団・ 庭園美術館 (ニューヨーク)・館長)	90

b) 企画展「井波彫刻—物語を彫る」

日本を代表する木彫りの町・富山県井波の彫刻をテーマに企画展を開催した。祭り彫刻、欄間彫刻、寺院彫刻を紹介し、彫刻の彫りが目の高さで楽しめるように工夫した。なかでも欄間彫刻は表裏が見えるように展示手法を工夫し、製作工程、製作のための道具一式（鑿約200点、砥石など）、映像とともに展示し、好評を得た。展覧会図録（A4・124P、2500円）も好評で、450部が期間中に完売した。

会 場	会 期	来場者
当館 1F 多目的ホール	9月30日～12月3日	11,255

(関連イベント)

名称	日 時	会 場	講 師	参加人数
講演会「名古屋城の彫り物 一本丸御殿の彫刻欄間—」	9月24日(日) 13:30～15:00	竹中大工道具館 1F 多目的ホール	岩倉綾泉(井波彫刻 伝統工芸士)	89
見学会「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」	①10月28日(日) 15:00～17:00 ②10月29日(日) 8:45～10:45 ③10月29日(日) 15:00～17:00 ④10月30日(月) 9:30～11:30	東本願寺	井波彫刻協同組合、 真宗大谷派(東本願 寺)僧侶	167

c) 企画展「第19回伝統工芸木竹展 第3回神戸展」

日本伝統工芸展の木竹工部門で隔年開催される「伝統工芸木竹展」の関西展を日本工芸会と共同にて開催した。全国から公募・入選した木工芸・竹工芸作品および人間国宝の作品60点と遺作1点を展示したほか、木工芸に使う樹種80点について展示した。

会 場	会 期	来場者
当館 1F 多目的ホール	5月13日～6月18日	5,226

(関連イベント)

名称	日 時	会 場	講 師	参加人数
ワークショップ「割物で つくる小皿」	5/28 10:00 ～16:00	木工室	宮本貞治、市川正人(日本工 芸会正会員)	8

d) 「第13回 座る・くらべる一脚展+2023」 特別展「一本の樹のものがたり」

兵庫県で活動する家具作家が過去一年以内に製作した新作の椅子を一脚ずつ展示する企画展を開催した。本年は特別展「一本の樹のものがたり」として、一本のケヤキの樹に伐採から製材、乾燥などの工程すべてに一脚展のメンバーが関わり、様々な木工品に姿を変えた木工作品を展示した。

会 場	会 期	来場者
当館 1F ホール	9月2日～18日	3,077

e) 海外特別展（パリ）「L’art des charpentiers japonais – Au cœur de l’architecture en bois traditionnelle」展

フランス・パリ日本文化会館にて日本の大工技術と大工道具を紹介する展覧会を開催した。

会 場	会 期	来場者
パリ日本文化会館（フランス）	2023年10月18日～2024年2月10日	34,452

f) 企画展備品の整備

企画展開催に必要な備品（サインスタンド等）を購入した。

③ 企画展の中期的準備

a) 「日光の金工と彩色」

開館 40 周年を記念して、ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に関連する特別展を連続開催することとした。その第 1 弾として 2024 年秋季に展覧会「日光の金工と彩色」（9 月～12 月・当館 1F ホール）を開催すべく、日光の建築漆・彩色・鍔金具および漆掻き（岩手）・金箔製作（金沢）についての資料調査および借用許可手続きを実施した。充実した企画となるよう企画案および展示計画の策定を進めている。本展は 2025 年秋に東京への巡回を予定している。

b) 「植物×匠」

ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に関連する特別展の第 2 弾として、建築素材としての植物とそれを活かす匠の技（屋根葺きなど）に焦点をあてた展覧会を国立科学博物館と共同で開催すべく（2025 年、神戸と東京で開催）、企画打合せを実施した。

c) 「鉋台をつくる－東京における台屋の成立と発展」

「ゆるまない」「狂わない」鉋台を打つ名人として知られた鉋台職人、やまあさ伊藤商店店主伊藤宗一郎の仕事を中心に「台打ち」の技を紹介する展覧会を開催することとした（2024 年 3 月 2 日～5 月 19 日、当館 1F ホール）。本年度は開催準備作業（企画・設計・図録製作等）を実施した。

d) 「JAPAN HOUSE 海外巡回展」

外務省が主催する JAPAN HOUSE 巡回企画展第 6 期に採択され、各会場との企画調整を行った。木組展の内容を中心とした日本の大工技術を紹介する展示を予定している。

会場：JAPAN HOUSE ロサンゼルス、JAPAN HOUSE ロンドン、JAPAN HOUSE サンパウロ、会期：2024 年 11 月～2026 年 2 月の予定

(3) 大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行

① 建築技術と道具に関する研究

a) 韓国

日本と深い関わりをもつ中国・韓国の木造建築と道具に関する調査研究を実施している。本年度は韓国の現役大工・ユミョンサン氏のインタビュー（11月、京畿道・天安市）を行うとともに、韓国の宮殿や寺院建築の仕事を知る最後の世代である大工・裴喜漢の自伝書『朝鮮大工裴喜漢の生涯、この朝鮮の鋸も錆びてしまった』の和訳を進めた。

b) ヨーロッパ

ヨーロッパの大工道具と建築技術に関する継続的研究を行った。本年度は特にフランスの規矩術 *l'art de trait* と巡歴修行システムに関する文献翻訳と次年度実施予定の現地調査準備を行った。本研究の成果は常設展の実施に反映させるため、引き続き継続する予定である。

c) 大工技術書

大工技術書「鎌倉造営名目」、「黒田宗信伝来文書」、「萬木碎」に関する読解研究を継続的に実施中。本年度は「鎌倉造営名目」の「木つる組物名目」の読解をすすめ、禅宗様三手先組物の仕口形状を明らかにして、規定内容に基づく3Dモデルを制作した。またその成果の一部とする論考を中国・寧波市保国寺古建築博物館第4回木造建築文化遺産の保護及び利用に関するシンポジウム「三次元コンピュータグラフィックスを用いた木組みの解説について」（10月12日～15日）にて動画発表した。

d) 建築部材の加工技術（部材加工痕）

大徳寺方丈より発見された両刃鑿（寛永12年）についてX線CT撮影を実施し茎内の形状が判明した。この成果を研究紀要へ報告予定（2024年3月刊行）。復元品制作については、本年はX線CT画像をもとにした復元図案の作成のみを行い、2024年度に鍛冶職人による制作を実施予定である。また、古代～近世前半の部材加工技術の実態を明らかにすべく建築部材の加工痕研究を継続中。本年3月に『法隆寺金堂古材調査報告書』が刊行された（「加工痕跡調査」の項を執筆担当）。

e) 大工・鍛冶への聞き取り調査

名工と讃えられる大工や鍛冶を対象に、既往研究調査ならびに本人・関係者への聞き取り調査を、中期的課題として継続的に実施している。本年は数奇屋大工に関する聞き取り調査（中村外二工務店・升田志郎棟梁）を11月に実施した。

f) 左官への聞き取り調査

磨き鋺の使用方法に関する聞き取り調査を実施した。

g) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成

道具と建築に関する情報収集を随時実施している。本年度は広報活動の参考とすべく下記施設へ視察を行った。

視察先	目的	視察日
AkeruE - パナソニックセンター東京	広報活動聞き取り調査	5月25日
静岡市歴史博物館	広報活動聞き取り調査	9月28日

② 出版活動（研究成果の公開）

a) 研究紀要 No.34 の発行および No.35 の準備

調査研究成果の公開を目的として研究紀要 No.34 を 3 月 20 日に発行（300 部）、学術電子ジャーナルサイト「J-STAGE」に登載した。掲載内容は下表のとおりである。また No.35（3 月発行）に向けて原稿執筆を行った。

著者	題名
植村昌子・熊谷透	一乗谷朝倉氏遺跡出土の建築部材の加工痕について
崔ゴウン（訳）	[資料紹介]『朝鮮木手・裴喜漢の生涯、この朝鮮の鋸も錆びてしまった』（大工道具編）

（4）教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動

① 諸施設への協力

a) 諸施設への協力

各種学校、博物館、研究機関、職人団体等に対して下記の協力を実施した。

ア) 実物資料貸出（4 件）

貸出先	使用目的	貸出期間	資料名
ギャラリー エー クワッド	裏磐梯高原ホテル企画展「木組みの家」展	7/15～9/30	映像「木組みの家」、ハンズオン模型 5 点
株式会社竹中工務店大阪本店	イケフェス大阪 2022 での御堂ビルプログラムワークショップ	9/1～11/4	積木・ジョイントマット一式
株式会社竹中工務店大分 APU 教学棟作業所	立命館アジア太平洋大学 教学棟内覧会イベント	9/17～10/7	日本・西洋の鋸各 5 点、日本・中国・西洋の鉋各 1 点、鉋をかけるための固定プレート 1 点、万力 2 点
ギャラリー エー クワッド	企画展「発酵と暮らし」展示	9/16～11/10	桶樽職人宮島良一氏の道具および製品 32 点

イ) 画像・映像貸出（13 件）

貸出先	使用目的／掲載紙	掲載期間	資料名
株式会社 Vicovico	「全国としょかんニュース」小学生版／中・高校生版 としょかん通信	2 月 1 日刊行	画像 5 点：竹中大工道具館開館 35 周年記念巡回展「木組 分解してみました」より円覚寺舍利殿組物原寸模型、フランス式架台、フランス式庇、組子細工、組子細工部分
株式会社テレビ朝日	「クイズプレゼンバラエティー Q さま!!」	放送日：2 月 20 日	画像 5 点：やすり、鋸、鋺、錐、鉋
株式会社ロングテイル	テレビ東京「世界！ニッポン行きたい人応援団」	放送日：3 月 6 日	映像 1 点：『削る 日本・中国・ヨーロッパの鉋』

岐阜県林政部県産材流通課	「令和4年度匠の国・岐阜県伝統建築家名鑑」	3月下旬刊行	画像1点：大工道具（やりがんなと鉋刃）
福島県文化財センター白河館	常設展示室にて上映し、来館者が常時自由に視聴できるようにするため	4月1日～6月3日	映像1点：竹中大工道具館2017年企画展「千年の葺 古代瓦を葺く」より『日本の古代瓦づくり』
IVSテレビ制作株式会社	日本テレビ系列「ザ！鉄腕！DASH！！」	放送日：4月9日	映像1点：『錐』 画像1点：ポールト錐
テレビ朝日映像	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」内の特集企画「Jの追跡にて」	放送日：7月28日	画像1点：アメリカ・ヨーロッパの横挽鋸
株式会社アルパ	小学校図書館向けセット「未来につなぐ工芸品」シリーズ全3巻	2024年2月刊行予定	画像1点：竹中大工道具館2023年企画展「井波彫刻 物語を彫る」より欄間の製作工程

ウ) 講師派遣 (5件)

派遣先	講演名称	開催日	講師
竹中工務店 平城宮跡大極殿東楼復原整備工事作業所	平城宮跡東楼復原勉強会－大工道具－	2/2	植村昌子
大阪大学	学問への扉「文化を見る科学のレンズ－意味合いの世界と物質の世界とは」	6/28、7/5	坂本忠規、北村智則、久保正幸
東北工業大学	気仙大工左官伝承館の道具調査について	9/20-21	坂本忠規
パリ日本文化会館	オープニング記念講演会 L' esprit des charpentiers est dans les détails	10/17	西山マルセーロ
京都府立京都学・歴彩館	第四回 国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」	12/9	崔ゴウン

エ) 博物館実習受入 (10校)

依頼先	期間	人数	内容
神戸学院大学、京都芸術大学、武庫川女子大学、神戸大学、奈良女子大学、関西学院大学、神戸芸術工科大学、京都橘大学、神戸松蔭女子学院大学、甲南大学	8/23,24～26 8/30～9/1,13	10	博物館実習 (5日間)

オ) 削ろう会への協力

職人の技能を競う競技団体「削ろう会」への支援を継続的に実施している。本年度は北海道削ろう会交流大会、全国削ろう会糸魚川大会へ下記の通り講師派遣を行い、鉋薄削り実演、研ぎ、鉋調整の講習を実施した。また「削ろう会会報」に連載として寄稿(4回/年)している(久保技能員)。

会場	期間	講師	参加人数
第4回 北海道削ろう会交流大会	6/24	久保正幸	約80
第39回 全国削ろう会糸魚川大会	11/11.12	久保正幸	約200

② 教育・文化普及活動の実施

a) 「技と心」セミナーの開催

館外学識者を講師に、大工道具や建築技術に関するセミナーを下記内容で開催した。

回次	会場	開催日	題名	講師	参加人数
103	当館 1F ホール	7/22	ピラミッドを支えた古代エジプトの木造技術	柏木裕之（東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授）	62
104	当館 1F ホール	12/9	京の銘木屋が語る木の文化	中川典子（銘木師、酢屋十一代目、千本銘木商会取締役）	66

b) ワークショップの開催

新型コロナウイルス感染症対策により、縮小していたワークショップを5/14より新しい運営方式により開催した。「ちょこっと木工」（工作ワークショップ、土日祝日）、大工による鉋削り体験（月1回）、大工道具にチャレンジ（月1回）、春休み・夏休み子ども体験教室等

ア) 木工イベント（38件 延3392名）

プログラム名	実施日数/実施日	講師	人数
大工道具にチャレンジ！	1日：1/14、2/4、2/5、4/22、5/5、5/6、5/7、7/16、7/17、9/9、12/17	北村智則（技能員）、久保正幸（技能員）、当館ボランティア	1187
大工と一緒に鉋削りに挑戦！	3日：5/3、5/4、6/13、7/19、7/15、8/16、11/2、11/18、11/19、11/28	北村智則、久保正幸 ボランティア	889
ちょこっと木工	40回	北村智則、久保正幸、後藤雅宏、黒岩絵里子、ボランティア	547
刃物研ぎ教室 Plus	全2回：10/14～10/15	北村智則、久保正幸	10
包丁研ぎ教室	11/8～11/9	北村智則、久保正幸	12
天然仕上げ砥石を体験する研ぎ教室	10/13	北村智則、久保正幸	10
WS「ひのきのおはしをつくろう」	4日：1/7、2/23、3/12、3/25、	北村智則、久保正幸	30
WS「ミニツールをつくろう」	4日：1/7、2/23、3/5、4/1	北村智則、久保正幸	24
WS「ひのきのスプーンをつくろう」	4日：1/8、2/25、3/11、3/25	北村智則、黒岩絵里子	20
WS「ロボ木ーをつくろう」	4日：1/8、2/25、3/11、8/9	北村智則、黒岩絵里子	43
WS「リユールシロフォンをつくろう」	3日：1/9、2/26、7/26	久保正幸、後藤雅宏、	27
WS「カッティングボードをつくろう」	2日：1/15、3/21、	久保正幸、後藤雅宏、	15
WS「ひのきのねんど、六甲山の木	2日：3/5、3/21	久保正幸	28

のたまごをつくろう」			
WS「組木パズル・ひなまつり A」	2/11	北村智則、久保正幸	3
WS「組木パズル・ひなまつり B」	2/12	黒岩絵里子	10
WS「我谷盆をつくろう」	2日：3/3、3/4	北村智則、久保正幸 後藤雅宏	12
WS「バターナイフ・ペーパーナイフをつくろう」	2/26	後藤雅宏、	11
WS「えんぴつ立て」	3/26、8/2	久保正幸、黒岩絵里子	22
WS「こま」	4/1	北村智則、	17
WS「組木コースター」	4/2	久保正幸	32
WS「組木パズル・端午の節句 A」	4/8	北村智則、久保正幸	5
WS「組木パズル・端午の節句 A」	4/9	後藤雅宏	10
WS「はしおき」	4/23	久保正幸	25
前挽き、大鋸体験	4/29、4/30	関西大工道具倶楽部	236
WS「ペーパーコード座編み」	3日：1/27、1/28、1/29	馬場田研吾	25
WS「割り物でつくる小皿」	5/28	宮本貞治、市川正人	8
WS「大人のための木工教室・角材編」	全6回：6/1～6/3、 6/9～6/11	北村智則、久保正幸	5
WS「イスをつくろう」	2日：7/28、7/29	北村智則、久保正幸	14
ポートピアホテル WS「大工道具にチャレンジとロボ木ーをつくろう」	8/1	北村智則、久保正幸	6
神戸市技術研修会	8/4	北村智則、久保正幸	10
WS「大工道具箱をつくろう（小）」	2日：8/18、8/19	北村智則	14
WS「DIY 子供木工教室」	8/11	古庄徹	30
WS「おはし+はしおき」	8/23	久保正幸	10
一脚展 WS「カードスタンド」	9/10	安森弘昌	10
WS「組木パズル・クリスマス」	11/25	久保正幸	6
WS「組み木の2023年干支」	3日：11/26、12/15、 12/16	北村智則	16
WS「クリスマスリースづくり」	2日：12/2～12/3	戸田直美	30
WS「木のクマを削ろう」	2日：12/8から12/9	福畑慎吾、北村智則、久保正幸	15

イ) 学校向けプログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため休止とした。

ウ) 茶室公開

春、秋季の特別公開は、コロナ禍により呈茶は開催せず、茶室見学のみ春季は事前申込制・各回定員先着6名（空き枠は当日受付）、秋季は当日先着順・各回定員10名で実施した。

内容	実施日	参加人数
春季特別公開	4/22,23、5/20,21	111
秋季特別公開	10/21,22、11/25,26	307

c) 木工室の管理・運営

木工室を管理運営するために必要な消耗品・道具・機械等を整備した。主な購入品は下記の通り（消耗品は除く）。

用途	品名	数量
削り体験用大鉋	五寸五分（165mm）鉋	1
技術研鑽のための大鉋	一尺一寸（330mm）鉋	1
新規ワークショップメニュー導入のため	四方反り鉋	6

③ ボランティア活動の管理・運営

a) 運営管理

大工道具に関心ある希望者をボランティアスタッフとして受け入れ、(1)館蔵品の手入れや整理等の補助、(2)常設展示の展示解説、(3)館内プログラムの運営およびその補助、(4)アウトリーチ活動補助等に携わってもらっている。今年は新たに解説3名、ワークショップ8名の新規ボランティアを受入れた。これら活動の管理運営ならびに、スキルアップのための研修会・見学会等を随時実施した。

内容	実施日	参加者
ボランティア事務局会議	7, 10, 11, 12月各1回	ボランティア事務局員
ボランティア研修会	3月に数回	西村 章、安田徹也、北村智則
ボランティア見学会（兵庫県立森林大学校演習林ほか）	11月14日	西村 章他職員＋ボランティア有志
英語解説勉強会	不定期	解説ボランティア有志
日本建築史勉強会	4～12月各1回	解説ボランティア有志

b) 茶道運営管理

館内の茶道イベントに対する補助を目的として竹中工務店茶道部がボランティアスタッフとして参加している。これに付随する稽古費の支払い、消耗品の購入等の運営管理を実施した。

(5) 竹中大工道具館の管理・運営（管理業務）

① 管理・運営一般

a) 財務会計処理業務一般

本館活動のための資金運用を含めた財務会計処理業務を適正且つ着実に実施する。

b) 入館受付、団体受付、展示説明他

新型コロナウイルス感染症対策により休止していた団体解説対応について、予約受付方法等の見直しを行い適宜改善のうえ、7月より受入れ再開、9月来館分から対応を再開した。また、それに伴う展示説明対応者の調整を着実に行った。個人の来館者や外国人来館者に対しても解説ボランティア対応や音声ガイド等活用し、家族や学校団体で来館する子どもたちが楽しみながら学べるワークシートを配布。人気の「ちょこっと木工」をはじめとするワークショップイベントについては受付業務をスムーズに行うためホームページからの事前申込みシステムを活用し、運用については適宜改善を行った。

② 広報活動

a) 広報一般

各種広報媒体へ企画展やイベント活動等を含めた情報提供を積極的に展開し、広報後の礼状送付などアフターケアを含め継続して報道してもらえるよう努めた。また、博物館施設等のイベント案内に特化したサイトの利用を積極的に行った。

b) 広報印刷物の発行と送付

当館の最新情報およびイベント案内を掲載した広報誌「竹中大工道具館 NEWS」（年 2 回発行、作成部数 6 月：5,000 部、12 月：3,000 部）と「イベントカレンダー」（年 2 回発行、作成部数 6 月：5,000 部、12 月：3,000 部）を発行し、関連施設、来館者などに配布ならびに発送した。

また、関係名簿の見直しを図ることにより印刷物等発送費の削減に取り組んだ。

c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理

広報活動の一環として、一般向けに IT を利用した、ウェブサイトの定期的更新および企画展用ページの構築、メールマガジンの定期発行（隔月年 4 回）を行った。また、YouTube（チャンネル登録者数 51,940 人、12/31 時点）に映像 7 点を公開し、SNS での投稿回数増加とともに、外国人向けに英語対応を充実させた。

YouTube 公開内容	点数	総視聴回数（12/31 時点）
「イサム・ノグチ TOOLS」展会場映像	1	5,375
ビデオライブラリー英語字幕版	3	10,605
AA Visiting School Kobe 2023 関連映像	1	2,052
『井波彫刻の技に迫る～彫刻欄間づくり～』	1	7,734
「井波彫刻」展会場映像	1	2,786

③ ミュージアムショップの運営

来場者サービスの一環として「木」「道具」をコンセプトにミュージアムショップを運営している。購入者の嗜好を検討しながら、当館のイメージ向上につながる新商品の開発を生産者と連携しながら進めている。

④ 茶室の維持・管理

敷地内の茶室を適切に維持管理し、春・秋に特別公開を実施した（4-2-b-ウ参照）。その際は解説ボランティアによる茶室解説ツアーも開催し、各枠内で出来る限り希望者を受け入れた。

⑤ 休憩室の維持・管理

定期的なイス、テーブル等什器の清掃・消毒に努めるとともに、手指の消毒できる体制を整備し休憩室を適切に維持管理する。制限の中で来館者が庭園を見ながらほっとひと息つける心地よい休憩場所を提供している。

⑥ 館の情報インフラの強化・管理

運営に必要な作業環境および情報インフラの更なる充実とセキュリティ強化を図るとともに、特に情報発信の手段としてメインとなるホームページの充実を図りユーザーの利便性を向上させている。

⑦ 理事会・評議員会、役員見学会の開催

2～3月に決算の定時理事会及び定時評議員会、11月に次年度の事業計画・予算の定時理事会及び役員見学会(役員全員)を開催した。

⑧ 財団法人事業報告会への参画

(公財)竹中育英会、(公財)ギャラリーエークウッドと共に出席し、本館の事業の進捗などについて報告、及び運営上の情報交換さらには企画展の共同開催についても情報交換を行った。

⑨ 運営管理の改善と効率化

館の運営に係る管理費(固定経費)をより精度よく把握するとともに、事業費(変動費)の予実管理の充実を図り、効率的な運営を推進している。